

令和6年度 事業報告書

自 令和6年4月 1日

至 令和7年3月31日

公益財団法人 淡海環境保全財団

1 ヨシ群落保全事業

ヨシ群落の保全には、県から受託で実施するヨシ群落の維持育成と併せて、多くの地域住民やさまざまな団体、企業などとの協働による保全活動や、こうした活動の担い手育成に向けた普及啓発が重要になっています。

こうした中、令和6年度は「淡海ヨシのみらいを考える会議」が本格的に動き出し、リーダー養成講座や現地見学会、フォーラムを開催することで、ヨシに関わる多様な主体の連携を促進するとともに、各地域でのヨシ保全活動の将来を担う人材の育成に取り組みました。

(1) ヨシ群落維持育成事業 [県受託事業]

【予算額： 7,000千円】

(定款4-2)

【決算額： 7,000千円】

ヨシ群落の健全な保全・育成のためにヨシの刈取、ごみの収集、ヤナギ等の伐採を行うとともに、ボランティア活動を行う団体に対しヨシ群落保全活動奨励金を交付しました。

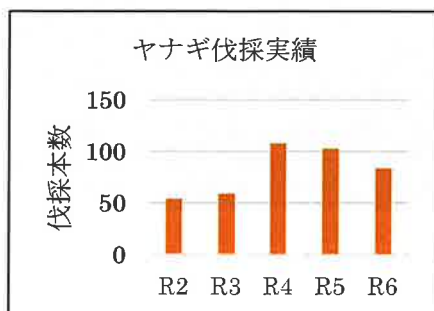
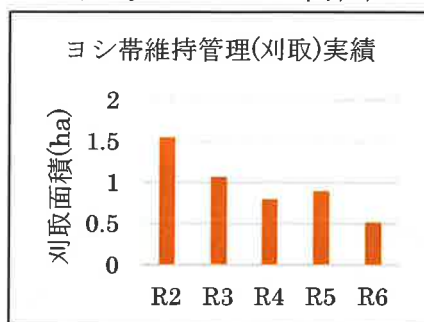
- ・ヨシ群落維持管理 3箇所では0.47haのヨシを刈取
- ・ヤナギ等の伐採 1箇所では84本伐採
- ・ヨシ群落保全活動奨励金 7団体が行う延べ9件のヨシ植え、ヨシ刈取、普及啓発活動に対し、964千円を交付



＜刈り取ったヨシ 草津市＞



＜伐採したヤナギの一般配付 長浜市＞



(2) ヨシふれあい事業 [自主事業]

【予算額： 311千円】

(定款4-2)

【決算額： 290千円】

ヨシ群落の重要性や保全の意義を広く普及啓発するために、ボランティア団体によるヨシの刈取や植栽に対する支援を行いました。また、財団の主催によるヨシ植栽のイベントも併せて開催しました。

- ・各種団体のヨシ保全活動(ヨシ植え、ヨシ刈り)現地指導 年間7回実施
(うち1件はヨシ刈り体験活動)
- ・(財団主催)ヨシ保全(ヨシ植)イベント 11月3日野洲市で実施 参加者36名



〈ボランティアによるヨシ刈りの指導
近江八幡市〉



〈財団主催の淡海ヨシボランティア
ヨシ植栽 野洲市〉

(3) ヨシ・自然環境学習推進事業 [自主事業]

【予算額： 259千円】

(定款4-2)

【決算額： 259千円】

琵琶湖とその周辺地域の自然の象徴である「ヨシ」をテーマに生態系の仕組みや人と自然との共生などについて学ぶ「小学校ヨシ学習」を実施しました。プログラムは①座学 ②地域団体と連携したヨシ苗づくり・ヨシ植え ③ヨシ刈り・すだれづくり ④ヨシ工作プログラムの4コースを基本に、16校で実施しました。



〈ヨシ工作 甲賀市〉



〈児童が育てたヨシの植栽 大津市〉

(4) 淡海のヨシ情報調査事業 [自主事業]

【予算額： 150千円】

(定款4-2)

【決算額： 132千円】

本事業は、湖国の原風景であるヨシ群落の価値や大切さを将来に伝えることを目的に、県内の主要なヨシ群落の自然、歴史、保全活動、ヨシの利用状況などについて、文献調査、現地調査、地元への聞き取り調査などにより情報収集し、取りまとめを行うものです。

令和6年度は湖北および下物について調査を行うとともに、これまでに調査した近江舞

子内湖、西の湖、針江の調査結果を広報誌「あすの淡海」に掲載し、情報発信しました。



〈湖北〉



〈下物〉

(5) ヨシ苗育成事業〔収益事業〕

【予算額：収入/2,364千円 支出/2,364千円】

（定款4-2）

【決算額：収入/1,310千円 支出/2,089千円】

各種団体等によるヨシ群落保全活動に供するため、活着が良いヨシポット苗やヨシマット苗の製造販売を行いました。

ヨシポット苗は1,050ポットの計画に対して921ポット、ヨシマット苗は南浜漁業協同組合に対して8枚を販売しました。

また、令和4年度県予定工事に向けて前年度から製造したヨシマット苗が当該工事計画の中止により在庫となりました。このヨシマット苗2,200枚のうち400枚は、令和5年度の別箇所の工事施工業者に販売しましたが、残りの1,800枚のマットの経年劣化が進み、商品としての品質を満たさないことから資産から除外します。

棚卸資産評価損：17,274,848円



〈ポット苗製造の様子(ヨシ苗育成センター)〉 〈マット苗の搬出(ヨシ苗育成センター)〉

(6) ヨシ紙製作事業〔収益事業〕

【予算額：収入/5,724千円 支出/5,724千円】

（定款4-3）

【決算額：収入/3,420千円 支出/4,311千円】

ヨシ群落の維持管理に伴う派生物の有効利用を図るとともに、琵琶湖の生態系におけるヨシの重要性を広くPRするため、刈り取ったヨシを活用したヨシ紙の製造販売を行いました。

令和6年度は最厚口全紙10,000枚を製造して今後2か年程度の受注に備えるとともに、最厚口全紙4,100枚、最厚口A4サイズ11,000枚、厚口A4サイズ3,940枚、機械漉きハガキ5,500枚等を販売しました。

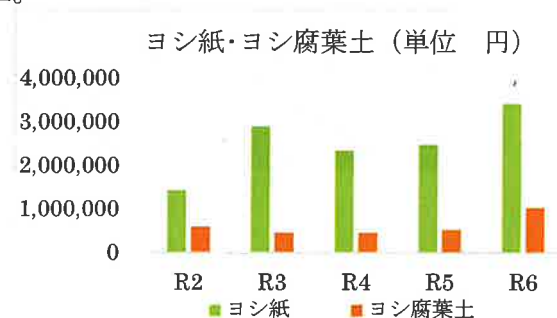
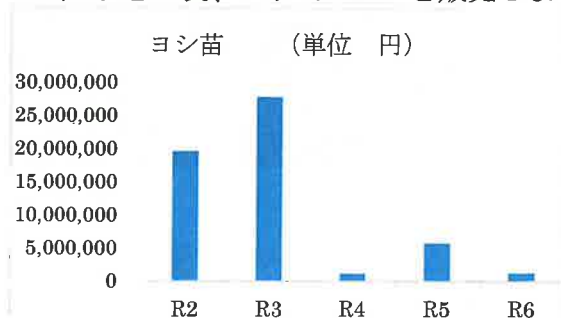
(7) ヨシ腐葉土製作事業 [収益事業]

(定款4-3)

【予算額：収入/ 550千円 支出/493千円】

【決算額：収入/1,042千円 支出/493千円】

ヨシ群落の保全に取り組むボランティアによるヨシ刈りの派生物を有効利用するため、ヨシ腐葉土、ヨシチップ等の製造販売を行い、令和6年度はヨシ腐葉土20ℓ入りを571袋、40ℓ入りを15袋、バラで0.8m³を販売しました。



(8) 「淡海ヨシのみらいを考える会議」活動推進事業 [公益事業・県受託事業]

(定款4-2)

【予算額： 1,620千円】

【決算額： 1,426千円】

琵琶湖をはじめとする自然環境の保全、湖国独自の風土や文化の継承など、ヨシ群落が果たしてきた役割を再認識するとともに、将来に向けて人とヨシとの新たな関係を築くため、令和6年3月に「淡海ヨシのみらいを考える会議」を発足させました。

令和6年度は、ヨシみらいメンバーズの募集、淡海ヨシみらいフォーラム、現地見学会、ヨシ保全活動リーダー養成講座を主催するとともに、それらの取組状況をニュースレターで発信しました。また、県から受託したヨシ群落保全活動団体調査を実施しました。



〈淡海ヨシみらいフォーラム (10/18)〉



〈現地見学会 (10/24)〉



〈ヨシ保全活動リーダー養成講座 (9/25)〉

2 自然保護・環境保全事業

琵琶湖の環境保全に重要な役割を果たしている水草刈取管理業務や環境保全に関する企業・団体等との連携による事業に取り組みました。

(1) 水草刈取管理業務 [県等受託事業]

【予算額：118,524千円】

(定款4-2)

【決算額：116,728千円】

琵琶湖等で異常繁茂する水草の刈取や除去の計画を作成し、刈取除去業者への指導管理から水草の揚陸、運搬、有効利用までの業務を実施するもので、令和6年度は4月下旬から3月上旬まで水草の刈取が行われました。

・水草揚陸運搬業務

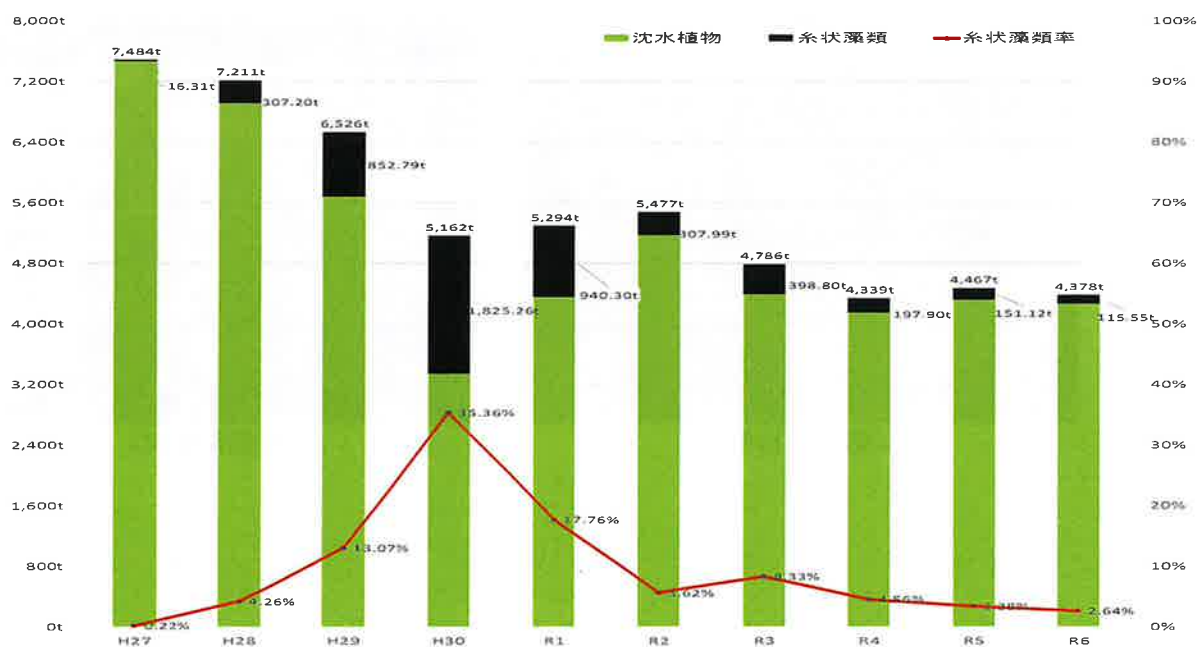
琵琶湖南湖に繁茂する水草に対し、表層刈取および根こそぎ除去の施工管理と、刈取除去された水草の揚陸、有効利用地(近江八幡市)への運搬を行いました。



〈根こそぎ除去揚陸作業〉



〈表層刈取揚陸運搬作業〉



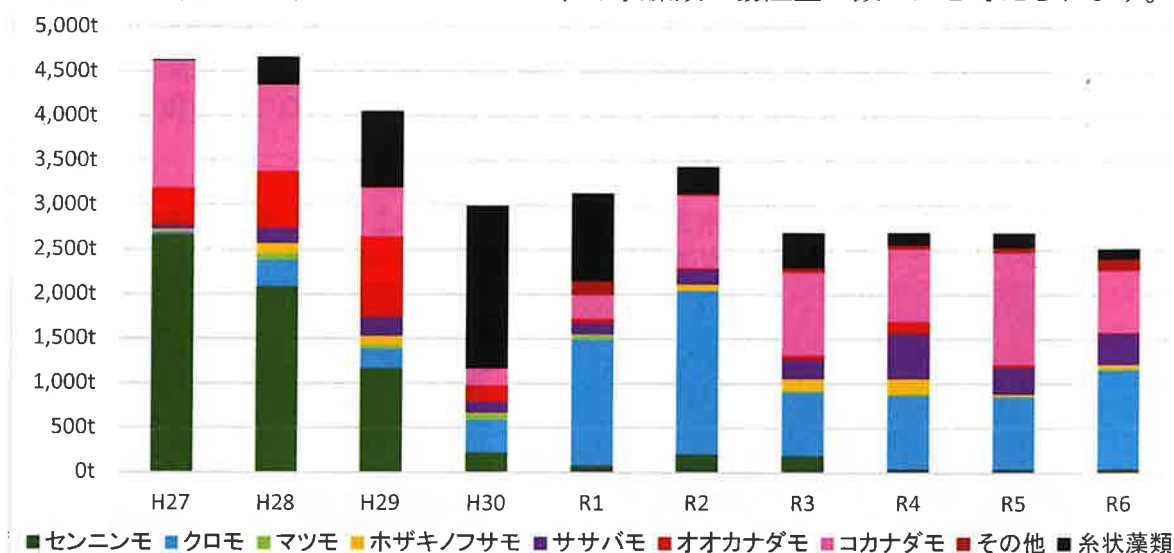
〈水草揚陸量の推移(平成27年度～令和6年度)〉

・琵琶湖南湖水草の概況

令和6年度は南湖南部の浜大津～におの浜附近において、夏季にクロモやササバモなどの背の高い水草が平成の末期並みに繁茂し、人目に立ちやすい地域で漂着が見られました。4月から12月まで一定の揚陸量がありましたが、南湖全体における水草の状況としては大きな繁茂が見られた平成27、28年に比べ、かなり少なくなっています。このた

め、令和6年度の水草の揚陸量は、前年度と同程度となりました。

このうち、堆肥化に課題がある「糸状藻類」の揚陸量は、最も多かった平成30年度の1割以下まで減少し、比較的少なかった昨年度と比べても3割減少しました。秋季から冬季の水温が比較的高めで推移し、沈水植物が枯れ残ったことで糸状藻類が大きく広がらなかったこと、令和4年度以降は漂着しやすく背が高くなりやすいクロモとコカナダモを重点的に根こそぎ除去したことにより、糸状藻類の揚陸量が減ったと考えられます。



＜水草種別揚陸量年度別推移(根こそぎ除去目視調査より)＞

・有効利用業務

揚陸した水草を有効利用地(近江八幡市)まで運搬し、畝の切返し等により堆肥化を進めています。できあがった堆肥は、3月1日から20日の土日祝日に県内7箇所です509名に対し、168㎡を配布しました。



＜切返し作業＞



＜堆肥化状況＞

(2) 自然保護啓発事業 [自主事業]
(定款4-1)

【予算額： 70千円】
【決算額： 69千円】

滋賀県愛鳥週間ポスターコンクールの入賞 3 作品に理事長賞を授与しました。



〈令和 6 年度理事長賞提供作品〉

(3) ラムサールびわっこ大使事業 [県受託事業]
(定款4-1)

【予算額： 2,650千円うち受託収入2,550千円、負担金100千円】

【決算額： 2,684千円うち受託収入2,630千円、負担金 54千円】

ラムサール条約に登録された国際的にも重要な湿地である琵琶湖の自然や文化を将来にわたって引き継ぐため、湖国の未来を担う次世代のリーダー育成に取り組みました。

- ・県内小学生より選ばれた 8 名のラムサールびわっこ大使に対し計 3 回の「事前学習会」を実施し、琵琶湖の漁業や里山保全、飛来する野鳥について学習・体験の機会を提供しました。
- ・「世代間交流会」では、先輩びわっこ大使と一緒に琵琶湖の自然と魚類の行動解析について学び、交流を深めました（協力：国立環境研究所 琵琶湖分室）。
- ・「県外派遣」（鳥取県・島根県）については中海と宍道湖を訪問し、各ラムサール登録地の多様な自然環境を学ぶとともに、水鳥観察やワークショップ、活動報告会などを通じて現地ラムサールクラブの子どもたちと交流しました。
- ・令和 6 年度の活動を総括する報告会を 3 月 16 日（日）に琵琶湖博物館で開催しました。



〈新旭での水鳥観察の様子〉



〈セタシジミ漁の体験〉

(4) SDGsおよびMLGs推進支援事業 [公益事業]
(定款4-1)

【予算額： 882千円】

【決算額： 811千円】

SDGsをはじめとする環境保全への機運の高まりを受け、令和 3 年度から企業・団体等によるヨシ保全に対し、財団のノウハウを活かした支援や財団事業との連携などに取り組んでいます。令和 6 年度の実績は以下のとおりです。

【企業との連携】

① 株式会社メタルアート

自社のヨシ保全活動計画策定のために行われたヨシ苗作りから植栽ボランティアまでの一連の体験に対し、支援・指導しました。将来的に拠点である草津市内で自主的な保全活動を実施することを目標とされており、今後も継続的に支援していく予定です。

② 株式会社仁木総合建設

「国道161号北小松湖岸補修工事」における現場環境復元の手法として、現地ツルヨシを親木とした苗を施工後に植栽（1/20実施）する取組に対し、技術支援およびツルヨシ苗182ポットを提供しました。

【団体との連携】

国土交通省近畿地方整備局琵琶湖河川事務所、守山市環境政策課、守山市立玉津小学校、いであ株式会社と連携し、野洲川河口のヨシ帯造成（ヨシ苗の植栽）を行いました。財団は主に、「親木の採取から幼苗育成」、「小学校でのヨシに関する座学および苗作りの指導」、「小学校での苗育成の支援」、「現地植栽指導」を行いました。



＜北小松湖岸での親木採取＞

＜玉津小学校ヨシ苗植栽＞

・生物多様性保全支援業務（東近江市）

「東近江市100年の森づくりビジョン」の改定（環境部森と水政策課）、東近江市森の文化博物館の整備（企画部森の文化博物館整備課）および生物多様性を重視した森づくりプロジェクト（環境部森と水政策課）について、当財団の自然保護や環境保全に関する技術や知見を生かし、これらの取組に対する助言、各種調査、資料作成などの支援を行いました。また、東近江市100年の森づくり会議や生物多様性を重視した森づくりプロジェクト現地検討会で講師を務めました。



＜東近江市100年の森づくり会議＞



＜生物多様性を重視した森づくりプロジェクト現地調査＞

3 地球温暖化防止活動事業

令和4年3月に、滋賀県において「滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例」の制定および「滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくり推進計画」が策定されたことに伴い、地球温暖化防止に関する出前講座やイベントでの啓発を中心に、県民への普及啓発活動をさらに充実させて実施しました。

企業に対しては、脱炭素に向けた取組の促進に向けて、啓発活動（セミナー）の開催や個別の事業者支援を行いました。

また、脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動「デコ活」の啓発を行うとともに、地球温暖化防止に取り組む学生の活動を促す事業を昨年に引き続き実施しました。

さらに、省エネ・再エネ設備の設置への助成を行う「スマート・ライフスタイル普及促進事業」や、電気自動車などの導入への助成を行う「次世代自動車普及促進事業」を実施しました。

(1) 地球温暖化防止活動推進センター活動事業 [県受託事業]

(定款 4-4)

【予算額：23,318 千円うち受託収入 22,838 千円、雑収入 180 千円、
特定費用準備資金 300 千円】

【決算額：23,300 千円うち受託収入 22,838 千円、雑収入 262 千円、
特定費用準備資金 200 千円】

地球温暖化対策推進法に基づき、県から指定を受けた滋賀県地球温暖化防止活動推進センターとして、滋賀県地球温暖化防止活動推進員と協力し、脱炭素型まちづくりの推進支援を行うなど、幅広い普及啓発活動を行いました。

① 啓発活動の実施

県内各地で実施される各種イベントでの啓発活動のほか、イオンモール草津において、「CO₂ネットゼロクイズ」「エアロバイク発電」等による啓発イベントを開催し、「しがCO₂ネットゼロ」の賛同に結びつけました。（R6年6月30日実施、来場者数：340名）

また、今年度新たに「しがわーくフェスタ 2024」（滋賀県中小企業青年中央会・滋賀県中小企業団体中央会主催）に出展し、子どもに地球温暖化防止活動推進センターのスタッフ体験をしてもらいました。

② 夏休み自由研究講座の開催

- ・「エコな食事メニューを考えよう」・・・オンライン配信を行い、身近な「食」から地球温暖化を家族で考える機会を提供しました。
- ・「SDGs を考えたお買い物」・・・実際の売り場に出て、どのような消費行動が良いかを自身で考え商品を選択するという体験学習を行いました。（アル・プラザ八日市店と協働で実施。）
- ・「びわ湖の魚を調べよう」・・・地球温暖化により、生態系にも影響が出ていることを学んでもらいました。



＜「SDGs を考えたお買い物」＞



＜「びわ湖の魚を調べよう」＞

③ CO₂ネットゼロ社会づくり学習支援

CO₂ネットゼロ社会づくりに資する環境学習を推進し、気候変動への対応を「自分ごと」として捉え、自ら行動できる人材の育成に努めました。

・出前講座の実施

フローティングスクール事前学習を始めとして、年度当初に学校からの講座依頼が多くあり、今年度の計画である150件を超えました。

講座計：196 講座

また、やまのこ事前学習に関するプログラム等、多くの新規プログラムを作成しました。

・学校教育におけるCO₂ネットゼロ教育

県教育委員会と連携し、しが環境教育研究協議会に対し、教員向け研修として講演「CO₂ネットゼロと生活とのつながりを意識した環境学習」およびワークショップを行いました（3年連続実施）。これらを受講した教員へ教科書に沿った複数のプログラムの紹介も行ったところ、講座実施の依頼があり、教員との連携づくりにつながりました。

また、昨年度上記を受講した教員から研修で使用した教材を使って自校で自ら教えたいとの申し入れに対応し、教材をウェブサイトからダウンロードできるようにしたところ、学校以外からもダウンロードの実績がありました。



〈矢倉小学校 ゴミの学習〉



〈教育研究協議会講演〉

・教科学習の中でのCO₂ネットゼロ教育の広報

教科学習以外の授業時間を割いてCO₂ネットゼロ教育を行うことは、難しいため、プログラム関連単元を調査し、掲載した「教員向け環境学習教材集」を作成し、県内全域の小学校に送付しました。今後の出前講座に活用します。



▲学校向け教材集表紙

もくじ	
プログラム	
地球温暖化ってなに？	1
生きているびわ湖(フローティングスクール事前学習)	2-3
森とつながろう(やまのこ事前学習)	4-5
みんなで考えよう!プラスチックとごみ問題	6-7
食とエネルギー	8-9
ふるしきの使い方～日本文化の伝承～	10
あつとホーム	11
音を作ってみよう	12
出前講座申込書	

／講座プログラム一覧



／内容の一例

関連する 単元	国語・算数・理科・社会・英語	学習指導要領	教科書
国語・算数・理科・社会・英語	国語・算数・理科・社会・英語	国語・算数・理科・社会・英語	国語・算数・理科・社会・英語
国語・算数・理科・社会・英語	国語・算数・理科・社会・英語	国語・算数・理科・社会・英語	国語・算数・理科・社会・英語
国語・算数・理科・社会・英語	国語・算数・理科・社会・英語	国語・算数・理科・社会・英語	国語・算数・理科・社会・英語

④ 省エネ・節電行動実践促進

市町や団体等と連携し、イベント会場において「省エネ・節電提案会」を開催しました。また環境省のPCソフトを用いた「うちエコ診断」を通じて、家庭における省エネ・節電行動の啓発・促進を図りました。

県内のうちエコ診断士による自主的な活動として、意見交換・情報共有を行う場である「滋賀県うちエコ診断士グループ会議」が発足し、3か月に一度を目途に会議を開催されています。

・うちエコ診断の実施

計画の100件に対し111件の診断を実施し、受診家庭の具体的な省エネ・節電行動とCO₂削減の提案を行いました。今年度から、守山市では自治会向けの補助金制度『わ』で輝く報償事業に「うちエコ診断受診」の項目が加わったことにより、3自治会17世帯が受診しました。

ー省エネ・節電提案会開催回数：21回実施

ーうちエコ診断件数：窓口診断4件、訪問3件、その他診断104件

・登録時研修とスキル審査の実施

うちエコ診断士の登録に際し、登録時研修とスキル審査を実施し、新たに2名をうちエコ診断士として登録しました。

・うちエコ診断士スキルアップ研修会の実施

うちエコ診断における提案の関連補助金として、国の主に「先進的窓リノベ事業補助金」と滋賀県「スマート・ライフスタイル普及促進事業補助金」に関する研修を実施しました。また、ロールプレイングでは、診断士が互いにうちエコ診断を受診することで相手の診断士から学び、診断におけるスキルアップを図りました。最後に意見交換を行い、研修全体を通して考えたことについてグループで共有し、発表していただきました。



〈スキルアップ研修会の様子〉



〈まいばら親子エコステーションにおける
うちエコ診断の様子〉

⑤ 企業向け啓発活動の実施

県内の企業や団体で、「地球温暖化防止」や「エコドライブ」に関するセミナーを4回開催しました。

⑥ しがCO₂ネットゼロまちづくりの推進

宣言を実施した県内の5地域において、市町と連携してさらなる脱炭素型のまちづくりを支援しました。住民自ら積極的にイベントを実施するなどして、服のリユースや生ごみたい肥など地域密着型の取組が行われました。

また、昨年を引き続き、県東近江環境事務所の主催で近江八幡市桐原学区協働まちづくり協議会、竜王町エコライフ推進協議会、東近江市長峰自治会連合会、日野町日野地区運営協議会の4地域の住民や各市町が集まり、今後の活動に役立てることができるよう、お互いの取組について意見交換を行いました。それぞれの地域の取組発表が刺激になり、今後の取組の活性化につながるという意見が出され、有意義な会議となりました。



＜竜王町クールシェア・服のリユース＞



＜長峰フリークル・ごみ分けゲーム＞

(2) 地域における地球温暖化防止活動促進事業 [国等補助事業]

(定款4-4)

【予算額：6,030千円うち補助金4,200千円、特定費用準備資金600千円、

財団費1,230千円】

【決算額：6,000千円うち補助金4,200千円、特定費用準備資金600千円、

財団費1,200千円】

エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に資するため、滋賀県地域温暖化防止活動推進センターが実施主体となり全国センターが交付する、環境省の補助事業を実施しました。

・環びわこ学生ネットゼロムーブメント事業

今年度は龍谷大学瀬田キャンパスの学生を対象に、温暖化防止のために「大学を拠点に資源の消費を減らす」活動として、マイボトル持参の普及に取り組みました。延べ14名の学生が啓発活動に参加し、アンケート調査では166名から回答を得ました。7月と10月の調査を比較すると給水機の認知度が18.5ポイント上昇し、毎日水筒を持参する人が9.1ポイント上昇する結果となりました。

・サステナブルファッション推進事業

消費者の過半が服の環境負荷が大きいことを認知していないため、服のCO₂排出量を伝えるとともに、サステナブルファッションを実践できる機会として、衣類の交換会等を実施しました。服の回収や持ち帰り量から算出したCO₂削減量は、1.59t-CO₂でした。

・事業者向け脱炭素に向けた取組推進事業

小規模事業者の脱炭素へ向けた取組を促進するため、簡易省エネ診断、CO₂排出量算出、廃棄物の有効利用、脱炭素につながる事業の提案等を行いました。4事業者（個人商店、レストラン、まちづくりセンター、保育園）を支援し、うち1事業者が空調等の機器交換に関心を示し、来年度実施されることとなりました。



＜環びわこ学生ネットゼロムーブメント事業 学生によるビラ配り（令和6年10月29日）＞



＜サステナブルファッション推進事業 米原イベントにて服のリユース会（令和6年9月16日）＞

(3) 地球温暖化防止啓発事業 [自主事業]

【予算額 : 3,865 千円】

(定款 4-4)

【決算額 : 3,865 千円】

矢橋帰帆島においてメガソーラー発電事業を行う企業体からの環境啓発活動支援協力金を活用し、より幅広い県民層を対象として、地球温暖化問題について啓発を行いました。

・「デコ活」啓発ポスター募集

地球温暖化防止「デコ活」啓発ポスター図案を県内学生から募集し、306点の応募作品から14点を選定し、滋賀県知事賞、京セラ賞、東京センチュリー賞、滋賀県地球温暖化防止活動推進センター長賞、優秀賞として表彰しました。

・令和6年度地球温暖化防止「デコ活」啓発ポスター入賞作品



最優秀賞・滋賀県知事賞

林 華凜さん

彦根市立鳥居本小学校3年



〈表彰式での記念撮影〉

特別賞



京セラ賞

八田 佳音さん

長浜市立西中学校2年



東京センチュリー賞

森瀬 樹さん

長浜市立西中学校2年



滋賀県地球温暖化防止

活動推進センター長賞

小川 彩月さん

大津市立真野小学校6年

優秀賞

《アナログポスター部門》



西尾 美月さん
彦根市立金城小学校
1年



林 佐歩さん
滋賀大学教育学部附属中学校
1年



堀江 彩葉さん
長浜市立浅井中学校
1年



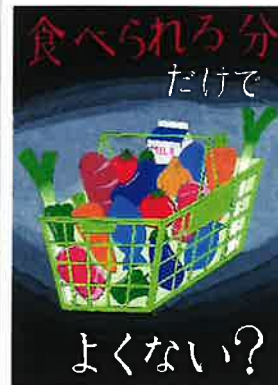
今瀨 瑛人さん
長浜市立西中学校
2年



内海 桜さん
滋賀大学教育学部附属中学校
2年



川口 朔太郎さん
滋賀大学教育学部附属中学校
2年



岩崎 琴音さん
長浜市立浅井中学校
3年



竹若 麻衣さん
栗東市立栗東西中学校
3年

《デジタルポスター部門》



堀池 美笹さん
滋賀県立栗東高等学校
2年



高槻 心愛さん
甲南女子大学
3年

- ・「デコ活」啓発ポスター入賞者表彰式およびワークショップ(しが「デコ活」推進フェア2024)開催

表彰式の後、環境活動家 谷口たかひささんを講師に迎え「気候変動と自己肯定感～みんなが知れば必ず変わる～」をテーマに、これまでの海外での活動の経験から、世界における気候変動の影響と私たちの自己肯定感の関係性について講演いただきました。併せて、初めての取組としてワークショップを行いました。



〈表彰式・イベントチラシ〉



〈講演会会場風景〉

- ・「デコ活」カレンダーの作成

入賞作品で「デコ活カレンダー2025」を作成し、市町・学校・図書館・公民館等へ配布しました。

- (4) スマート・ライフスタイル普及促進事業 [県補助事業] 【予算額：171,836 千円】
(定款 4-4) 【決算額：161,692 千円】

家庭においてエネルギーを「減らす」「創る」「賢く使う」取組を総合的に広め、再生可能エネルギーの普及拡大と徹底した省エネ(節電)の推進を図るため、個人用既存住宅において太陽光発電システムや省エネ・創エネ設備(高効率給湯器・蓄電池等)を設置された方に対し、その導入に要する経費の一部を助成しました。

交付補助金額 151,095 千円

○機器別補助件数の内訳

	機器別補助件数					
	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
太陽光発電	237	265	303	332	268	214
エネファーム	44	168	175	173	138	78
高効率給湯器 (エネファーム以外)	260	254	371	639	544	467
太陽熱利用	—	1	4	2	1	0
家庭用蓄電池	446	430	515	557	448	443
V2H	1	4	10	25	21	9
窓断熱設備	4	6	15	20	45	43
断熱改修	—	—	—	—	1	1
高効率空調設備	—	—	—	—	4	5
高機能換気設備	—	—	—	—	0	1
高効率照明機器	—	—	—	—	1	8
合 計	992	1,128	1,393	1,748	1,471	1,269
補助金交付金額	44,560,000	47,520,000	56,520,000	65,650,000	139,134,000	151,095,000

(5) 次世代自動車普及促進事業 [県補助事業]

【予算額：2,350千円】

(定款 4-4)

【決算額：1,345千円】

運輸部門におけるCO₂ネットゼロの取組を促進するため、次世代自動車(EV、PHV、FCV)を導入された方に対し、その導入に要する経費の一部を助成しました。

交付補助金額 1,100千円

	補助件数		
	R4年度	R5年度	R6年度
E V	29	11	9
P H V	5	3	2
F C V	0	0	0
合 計	34	14	11
補助金交付金額	3,400,000	1,400,000	1,100,000

(6) 気候変動市民参加モニタリングプラットフォーム構築支援事業

(定款 4-4)

[地球環境総合研究所受託事業]

【予算額：500千円】

【決算額：500千円】

2024(令和 6)年度総合地球環境学研究所実践プロジェクト「気候変動市民参加モニタリングプラットフォーム(C³S-PaaS)」に対する利用者ニーズを把握するため、ワークショップ等各種の気候変動影響収集・共有イベントの設定と開催、運営を行いました。特に今年度は、ワークショップ教材も開発し、県民に対しても、渇水や暑熱など様々な状況における適応策の熟議の場を提供しました。

- ・定例会の開催・・・・・・・・・・ 6 回実施
- ・情報交換会の開催・・・・・・・・ 2 回実施
- ・若者意見交換会の開催・・・・ 2 回実施
- ・シニア意見交換会の開催・・・・ 1 回実施
- ・渇水評価ワークショップの開催・・ 1 回実施
- ・暑熱評価ワークショップの開催・・ 1 回実施



〈渇水評価ワークショップの様子〉

(7) 脱炭素先行地域親子エコイベント開催業務受託事業 [米原市受託事業]

(定款 4-4)

【予算額：1,200 千円】

【決算額：1,200 千円】

米原市では「農山村の脱炭素化と地域活性～米原市「ECO VILLAGE 構想」～」を策定し、環境省の脱炭素先行地域に選定されました。この構想に対する市民の理解を深めるとともに、気候変動問題を自分ごととしてとらえ、行動変容につなげてもらうことを目的に、脱炭素先行地域親子エコイベントが開催され、当財団がその企画運営を受託しました。

イベント名：「まいばら親子エコステーションーみんなでつくる、脱炭素社会ー」

日 時：令和 6 年 9 月 16 日（月）10:30～15:30

場 所：米原市役所

1 F コンベンションホール

3 F 市民交流スペース、会議室

米原駅連絡通路下にぎわいスペース

来場者数：515 名

成 果：アンケート結果からは、次回もイベントがあればとても参加したい、参加したいとの回答が 100%でした。



＜蝶たろうさんトークショー
& 標本作成体験＞



＜アストラゼネカ(株)＞
(自分だけの My エコバックを作ろう!)



＜自転車発電でかき氷＞

4 水質保全に関する事業

これまで公共下水道分野で培ってきた経験と技術を次世代に継承するための技術支援をはじめ、下水汚泥の有効利用による下水道リノベーションの推進、新技術情報発信や共同研究による水環境ビジネスの支援および下水道の海外展開による国際貢献などの「淡海環境プラザ事業」を実施しました。

(1) 公共下水処理管理技術支援事業 [県受託事業]

【予算額:12,746 千円】

(定款 4-5)

【決算額:11,220 千円】

県の各下水処理場（4 浄化センター）に職員を派遣し、施設の適切な運転管理、水質管理のため、専門的な知見から指導、助言を行うとともに、技術的支援を行いました。

支援回数は令和 5 年度と同じで、湖南中部浄化センターと東北部浄化センターについては月 2 回、湖西浄化センターと高島浄化センターについては週 2 回の支援を行いました。



〈湖南中部浄化センターでの現場支援〉



〈高島浄化センターでの現場支援〉

(2) 普及啓発事業 [県受託事業]

【予算額: 11,596 千円】

(定款 4-5)

【決算額: 10,780 千円】

・施設案内

行政、研究機関、海外および一般の浄化センターやプラザの見学において、下水道のしくみ、処理状況等の説明を行い、琵琶湖の環境（水質保全）を支えている下水道の大切さを伝えました。

見学実績: 29 団体 1,023 人



〈中国の大学生への技術展示説明〉



〈小学校への下水道のしくみの説明〉

・広報誌の発行

下水道に関する知識および情報等を掲載した広報誌「碧い湖」を年に2回発行し、県内の公民館、図書館、金融機関等に配布しました。

第65号 令和6年10月発行 10,800部

特集：「高島下水道 リサイクル肥料販売中！」

第66号 令和7年3月発行 10,900部

特集：「下水道事業の新しい展開～東北部浄化センターで新しい水処理方式の施設を建設しています！」



〈碧い湖 第66号〉

・普及啓発イベントの開催・出展

下水道のしくみや正しい使い方、下水汚泥資源の循環等について、リニューアルされたプラザ展示を使った説明や管路模型実験による説明、浄化センター見学の実施等を行ったほか、ブース出展によるPRを実施しました。

＜普及啓発イベント＞

日付	場所	イベント名	実施内容	ブース等参加者
7月25・26日、 8月1・2日	湖南中部浄化センター 淡海環境プラザ	親子見学会	下水道のしくみの説明や下水道管模型による実験、下水中の微生物観察支援等を実施	約100人
9月16日	米原市役所	まいばらエコステーション	下水道の啓発ブースを出展するとともに、ステージで「下水道マン」による歌を交えた下水道のしくみの説明等を実施	約100人
10月6日	淡海環境プラザ	カヌー体験会	カヌー体験会参加者にプラザを見学してもらい、下水道のしくみ等について説明を実施	約80人
10月12日	希望が丘文化公園	けんせつみらいフェスタ2024	下水道の啓発ブースを出展。ブースでは、子どもたちには模型を使った下水道管の敷設体験やオリジナルマンホールバッジ製作をしてもらい、一般の方には下水道のしくみの説明等を実施	約350人
11月3日	淡海環境プラザ	よりよい水環境づくりポスターコンクール表彰式	表彰された小中学生やその保護者等にプラザを見学してもらい、下水道のしくみの説明等を実施	約100人
2月1日	くさつエコスタイルプラザ	草津こども環境会議	下水道の啓発ブースを出展し、来場者に下水道のしくみを説明	約10人
2月16日	淡海環境プラザ	水環境体験学習ツアー	下水道のしくみの説明や下水道管渠模型による実験を実施	約30人
3月16日	湖南中部浄化センター			約70人



〈親子見学会（微生物観察）〉



〈下水道マンのステージ〉

・マンホールカードの配布

マンホールカードは、地域特有のマンホール蓋をモチーフに、下水道の広報を目的とする団体「下水道広報プラットフォーム」と全国の自治体が共同で企画・監修する世界初のマンホール蓋のコレクションカードです。当財団では、淡海環境プラザで滋賀県流域下水道のマンホールカードを平成28年8月から希望者に配布しています。

滋賀県流域下水道 平成28年8月～ 延べ配布枚数 16,195枚(R7.3.31現在)



〈滋賀県流域下水道マンホールカード〉

(3) 高島汚泥コンポスト利活用推進事業 [県受託事業] 【予算額：2,000千円】
(定款4-3、4-5) 【決算額：1,998千円】

滋賀県では、下水道資源の有効利用を進めるため、高島浄化センターから発生する下水汚泥のコンポスト化（肥料化）事業を推進しています。

滋賀県で初めてとなる下水汚泥のコンポスト化を行うにあたり、水草堆肥の製造および普及啓発の実績がある当財団は、滋賀県から依頼を受けて令和2年度から高島下水汚泥コンポストの試験製造や成分分析、コンポストを使った野菜の栽培試験、地域バイオマス混合堆肥試験、土壌改良効果確認試験、さらには普及啓発のための利用先調査や小学校等へのPRなどを行ってきました。令和6年度はコンポスト製造施設が本格稼働して「おうみつ肥」の愛称で販売が始まり、財団はコンポストの普及啓発業務を行いました。

＜高島下水汚泥コンポスト普及啓発イベント＞

日付	場所	イベント名	実施内容	ブース等参加者
4月22日	なぎさ公園（大津市）	おおつ花フェスタ	下水汚泥肥料PRチラシとサンプルを配布	約100人
6月14日	雄琴小学校（大津市）	ジャガイモ収穫	参加した児童や地元協力者等に栽培に使われた下水汚泥肥料を説明	約60人
7月7日	えきまちテラス（長浜駅前）	びわっ子FESTA	下水汚泥肥料PRチラシとサンプルを配布	約80人
9月16日	米原市役所	まいばらエコステーション	下水汚泥肥料PRチラシとサンプルを配布	約100人
8月28日	大阪市	国内肥料資源利用拡大シンポジウム・マッチングフォーラム	下水汚泥肥料PRチラシとサンプルを配布（有人）	約50人
9月25日	広島市		同上（無人）	約50人
12月4日	札幌市		同上（無人）	約25人
12月13日	大阪市		同上（有人）	約50人
1月31日	東京都		同上（無人）	約50人



＜ジャガイモ収穫（雄琴小学校）＞



＜おうみつ肥の説明＞

(4) 技術講習、セミナー開催事業 [県受託事業]
(定款 4-3、4-5)

【予算額：4,122 千円】

【決算額：4,100 千円】

下水道の機能とその実態についての知識の習得と技術の向上を図るとともに、日常の維持管理に必要な情報提供のため、公共下水道を管理する市町職員を対象に技術講習会を開催しました。

また、県の下水道関係職員を対象として下水汚泥有効利用についての勉強会を開催しました。

・市町下水道技術講習会

第1回 11月21日

テーマ：「圧送管等の管路点検業務の現状と官学連携の展望」

参加者：46名

第2回 2月20日

テーマ：「地震発生時の管路点検について」

参加者：28名



＜第1回下水道技術講習会の様子＞

・汚泥有効利用勉強会

第1回 8月20日

テーマ：「下水汚泥コンポスト化施設の見学」
(和歌山県ヘルス工業)

参加者：12名

第2回 3月27日

テーマ：「下水汚泥有効利用調査研究最終報告会」
参加者：22名



〈第1回汚泥有効利用勉強会の様子〉

(5)技術指導支援事業 [自主事業]

【予算額：618千円】

(定款4-5)

【決算額：0千円】

ベトナム国ハロン市水環境改善事業（円借款事業）および新たな JICA 草の根技術協力事業のためのカンボジア等の現地調査を実施する予定でしたが、現地調整の停止等により、これらの事業が実施できませんでした。

ベトナム国ハロン市水環境改善事業は、日本の円借款によりハロン市において大規模な下水道を整備するもので、この事業の施工管理業務に応札を予定していた日本企業に対して、滋賀県と連携して専門家による事業への支援の提案を行いました。現地調整が整いませんでした。

しかしながら、ベトナムには令和3年から5年までの間、財団職員が JICA 専門家として派遣され、令和7年1月からは滋賀県職員 OB が引き続き派遣されていることから、滋賀県と連携して新規案件に向けた情報収集を行っていきます。

カンボジア現地調査については、県や財団職員 OB（令和6年10月より JICA からプノンペンに派遣）、JICA 関西と連携して現地ニーズの把握に努めました。

また、ニカラグアの JICA 案件について、実施主体である ILEC に対し、本邦研修等での当財団参画の提案を行いました。

(6)新技術研究開発支援事業 [県・国等受託事業]

(定款4-5) 【予算額：2,245千円うち県受託収入1,245千円、国等受託収入1,000千円】

【決算額：1,712千円うち県受託収入1,200千円、国等受託収入512千円】

企業が新技術開発の目的で実証実験等を行うためのフィールドを提供するとともに、企業等が研究に必要とする試料等を提供し、その調整、指導、助言などの支援を実施しました。

・積水化学工業（株）

「水処理膜実証テスト」

(R3年4月1日～R7年3月31日)

・兵神装備（株）

「脱水設備の遠隔監視システム実証実験」

(R5年11月1日～R7年10月31日)

・東レ（株）

「水処理膜を用いた実験」

(R6年12月1日～R7年11月30日)



〈フィールド提供希望企業との現地確認〉

(7) 新技術普及促進支援事業 [県受託事業]
(定款 4-5)

【予算額：1,893 千円】

【決算額：1,784 千円】

淡海環境プラザでの企業等の技術・製品等の展示の支援を行い、来館者に対して展示内容の紹介等の技術情報の発信を行いました。

また、下水道をはじめとする幅広い水環境分野の新技術情報を提供する水環境技術データベースによる情報発信を行いました。



〈ベトナム企業関係者へのプラザ展示企業プレゼン〉



〈水環境技術データベース（日本語版/英語版）〉

(8) 施設の維持管理事業 [県受託事業]
(定款 4-10)

【予算額：18,273 千円】

【決算額：18,070 千円】

淡海環境プラザへの来館者の見学環境の維持改善や企業展示の維持管理のため、日常点検や定期点検を実施し、施設の維持管理を行いました。

また、令和5年度から6年度にかけて実施された淡海環境プラザ長寿命化工事や展示リニューアル工事の調整を行いました。



〈外壁工事完了後の淡海環境プラザ(R6.3)〉



〈リニューアルされたプラザ 1F ホール(R7.2)〉

5 環境情報発信事業

県民の環境意識の高揚を図るため、SNSなどさまざまな手段や機会を活用して積極的に情報発信を行っています。令和6年度も、財団のあらゆる事業を同じイベントに出展するなど普及啓発や環境学習を行うとともに、それらの情報発信を行いました。

(1) 広報事業 [自主事業] (定款 4-8)

【予算額：3,895 千円】

【決算額：2,849 千円】

琵琶湖をはじめとする県内の環境保全に関する情報発信を行っています。

・メールマガジンの発行

財団事業のタイムリーな情報発信のため、定期的にメールマガジンの配信を行いました。(実績 「淡海環境メールマガジン」計12回)

また、温暖化防止活動推進センターより基本的には週1回のペースで「しがCO₂ネットゼロムーブメントだより」の送信を行いました。

(実績 計49回)

・ホームページの情報更新

県民の皆さんや地球温暖化防止活動推進員にとって分かりやすく使いやすいホームページとするため、適宜更新を行い、積極的に情報発信を行いました。

・広報誌「あすの淡海」の発行

財団の事業等をわかりやすく発信するため、広報誌「あすの淡海」を年4回、各10,000部発行・配付しています。また、広報誌については、ホームページにも掲載しています。

(計4号を発行・配付済・令和6年度各号の表紙特集内容：(46号)脱炭素に取り組む事業者支援の紹介、(47号)ヨシ群落保全・活用事業、(48号)プラザ運営事業、(49号)サステナブルファッション啓発事業)



＜「あすの淡海」各号の表紙＞

(2)7.1 びわ湖の日 オフィシャルパートナー事業 [自主事業] 【予算額： 330 千円】
 (定款 4-8) 【決算額： 330 千円】

びわ湖放送の「野洲のおっさん びわ湖一周行脚」のオフィシャルパートナーとしてテレビCMやY o u T u b eで財団事業の紹介や、新たに財団への寄附や協賛等の支援を呼びかけました。



〈びわ湖放送のテレビCMやY o u T u b eでのPR動画〉

主な庶務事項

理事会、評議員会の開催状況

開催年月日	事項
令和6年4月10日	理事会を開催（決議の省略） （議事事項） 1. 評議員・理事の選任について （承認）
令和6年4月17日	評議員会を開催（決議の省略） （議事事項） 1. 評議員・理事の選任について （承認）
令和6年4月17日	理事会を開催（決議の省略） （議事事項） 1. 評議員の招集について （承認）
令和6年4月25日	評議員会を開催（決議の省略） （議事事項） 1. 監事の選任について （承認）
令和6年6月3日	第1回 理事会を開催 （議事事項） 1. 副理事長の選定について 2. 令和5年度事業報告の承認について 3. 令和5年度決算の承認について 4. 特定費用準備資金の取崩しについて 5. 特定費用準備資金の設定（変更）について 6. 評議員の招集について （承認） （報告） 中期経営計画進捗状況について

令和6年6月18日	理事会を開催（決議の省略） （議事事項） 理事長の報酬月額および賞与について （承認）
令和6年6月26日	第1回 評議員会を開催 （議事事項） 1. 令和5年度決算の承認について 2. 評議員の選任について 3. 理事の選任について 4. 監事の選任について （承認） （報告） 令和5年度事業報告について 令和6年度事業計画および予算について 特定費用準備資金の取崩しについて 特定費用準備資金の設定（変更）について 中期経営計画進捗状況について
令和6年7月3日	理事会を開催（決議の省略） （議事事項） 理事長・副理事長の選定について （承認）
令和6年8月1日	理事会を開催（決議の省略） （議事事項） 評議員の招集について （承認）
令和6年8月16日	評議員会を開催（決議の省略） （議事事項） 評議員の選任について （承認）

令和6年11月5日	理事会を開催（決議の省略） （議事事項） 評議員の招集について （承認）
令和6年11月13日	評議員会を開催（決議の省略） （議事事項） 評議員の選任について （承認）
令和7年1月28日	第2回理事会を開催 （議事事項） 1. 公益財団法人淡海環境保全財団就業規則の改正（案）について 2. 令和6年度収入支出補正予算書（案）の承認について 3. 専決処分の承認（職員の給与に関する規程）について 4. 専決処分の承認（令和6年度収入支出補正予算書）について （承認） （報告） 令和6年度事業の進捗状況について 令和6年度収支見通しについて
令和7年3月21日	第3回理事会を開催 （議事事項） 1. 公益財団法人淡海環境保全財団組織規程の改正について 2. 令和7年度事業計画書（案）の承認について 3. 令和7年度収支予算書（案）の承認について 4. 常勤理事の報酬月額および賞与について 5. 令和7年度資金調達および設備投資の見込みの承認について （承認） （報告） 公益財団法人淡海環境保全財団定款の変更について 令和6年度収支見通しについて

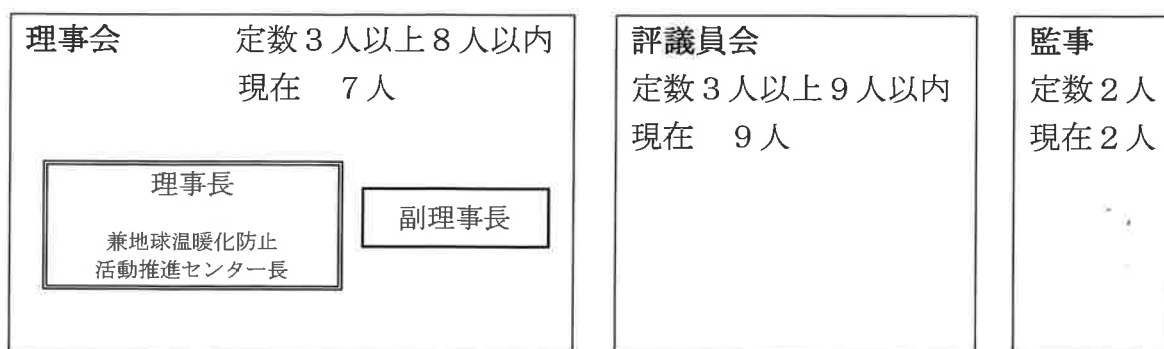
登記関係

年月日	事項
令和6年4月30日	理事・評議員・監事の変更登記 (3名辞任、3名就任)
令和6年7月24日	理事・評議員・監事の登記 (任期满了による登記、代表理事1名、 理事7名、評議員8名、監事2名)
令和6年9月2日	評議員の登記 (1名就任)
令和6年11月19日	評議員の登記 (1名辞任、1名就任)

検査監査関係

年月日	事項
令和6年5月13日	監事予備監査
令和6年5月30日	監事監査

組織および所管事業(令和7年3月31日現在)



事務局

